

所沢市の災害時要援護者支援に関する連絡会議 第一回 議事録
(第三回 勉強会)

日時： 平成24年7月31日（火曜日） 16時半から18時

場所： 国立障害者リハビリテーションセンター研究所第一研究棟 機材室（2階）

出席者名簿

所沢市危機管理課	課長
	副主幹
所沢市福祉総務課	課長
所沢市障害福祉課	課長
	主査
所沢市成人保健課	主査
所沢市子ども支援課	主任
	主任
所沢市立松原学園	園長
所沢市立プロペラ	副施設長
国リハ管理部	総務課長補佐
国リハ自立支援局 国立秩父学園	庶務課長
国リハ研究所	障害福祉研究部長
国リハ研究所	発達障害情報・支援センター長
国リハ研究所	障害福祉研究部 社会適応システム開発室長
国リハ研究所	障害福祉研究部 社会適応システム開発室研究員

議事：

1. 開催趣旨の説明とこれまでの防災研究の経緯
2. 研究計画
3. モデル地域（所沢市）における災害関係情報の共有

- 1) 国リハ総務課：協定締結以外には、備蓄倉庫を整備。
- 2) 所沢市危機管理課：要援護者名簿の登録者は少なく、自治会で個人避難計画を立てることになるが進んでおらず、自治会からの報告もされていない。
- 3) 障害福祉課：災害時の職員マニュアルと一次避難所から二次避難所への輸送について、2-3年間でまとめる予定。
- 4) 秩父学園：国会議員と市議会議員の視察で、福祉避難所としての整備状況を質問された。
- 5) 所沢特別支援学校：学校として備蓄はあるが、地域の一般市民も受け入れるべきか、通学中の生徒の対策等課題は多い。
- 6) 子ども支援課：発達障害児の数の把握はできていない。
- 7) 成人保健課：精神障害者手帳をもつ発達障害者、高次脳機能障害者等の区別はつかない。
- 8) 福祉総務課：民生委員 493 名の担当。民生委員は障害者への対応を学習しているが、障害者への対応方法についての研修を希望している。平成 28 年 4 月オープンの総合福祉センターの企画（障害相談機能、子育て対応機能、社会福祉協議会、ボランティア活動支援センター）、所沢市 11 か所のまちづくりセンターを中心とした対策も防災には有効かもしれない。
- 9) 松原学園：通園者を保護者に引き渡した後は、福祉避難所として市民を受け入れる。通園バスの災害対策を見直した。食料備蓄はない。
- 10) 生活介護事業所 プロペラ：東日本大震災では、全員をバスで帰宅させたが、保護者が帰宅困難な場合は利用者を一時、施設で保護した。在宅時の対応は未確認。
- 11) 福祉マップ：作成し、防災と連携して活用できるとよいか、個人情報課題がある。
- 12) 最も想定すべき災害は、地震（立川断層）。